

平成22年11月19日

長 崎 県

廃FRP船処理の取り組みについて

(現状)

- ・ 本県管理漁港においては、廃FRP船については、放置船舶台帳により管理している。
- ・ 放置船舶隻数については、ほぼ横這いで推移。
- ・ 処理については、県内ではリサイクルシステムでの処理実績はある。
- ・ 平成6年度に県においても、魚礁化の実証実験を実施したが、魚の蛸集について効果は見られていない。

(課題)

- ・ リサイクルシステムも費用は安くなってきているものの、限られた指定取引場所への搬入方法、コスト。
- ・ 特に離島については、搬入が困難である。
- ・ 廃船処理費用について、原則排出者負担であるが、廃FRP船のリサイクル定着に向けたモデルの確立が必要。